※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆
九州運輸局メールマガジン　　平成２４年３月２９日　第１６２号
～九州の明日を拓く運輸と観光～
九州運輸局ＨＰアドレス　　http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
次号は、４月１２日（木）に配信いたします。
◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
―◆―　目　次　―◆―

１　九州運輸局ホームページアップ情報（３月２２日～３月２８日掲載分）
　　☆　各種情報
　　☆　分野別情報
　　☆　お知らせ
２　現場リポート
３　九州運輸局セミナー

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
１　九州運輸局ホームページアップ情報（３月２２日～３月２８日掲載分）
◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
☆各種情報
《入札契約情報》
・企画競争実施予定情報（３／２７付け）
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_120327.pdf

・電子入札システム（九州運輸局競争契約入札心得の変更）
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kokoroe/nyusatsu.pdf

☆分野別情報
《公共交通活性化》
・第１５回九州地方交通審議会（平成２４年３月２３日）
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file28.html

《バス・タクシー・トラック》
・タクシー運転者の登録制度等について
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file24.htm

・タクシーの特定地域協議会（長崎交通圏、佐世保市、諫早市）
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file18/nag.html

☆お知らせ
・自動車運送事業者に対する安全指導業務の民間参入のための説明会の開催について
http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000003.html

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

２　現場リポート
◇◆
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――

▼▼大分駅完全高架化なる▼▼

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――

平成２４年３月１７日（土）、春のダイヤ改正に合わせて大分駅が完全高架化されました。開業式典にあたり前日までの雨が心配されましたが、開業を祝福するかのように朝から雨も上がり、時折薄日が差すような良い天気になりました。

大分市の中心市街地は鉄道で南北に分断されており、一体的な発展がなかなかできませんでした。また、踏切も多く、朝晩のラッシュ時には、いつも交通渋滞が発生していました。久大本線及び豊肥本線は、すでに平成２０年８月に高架化が済んでおり、今回の日豊本線の開業で大分駅は完全に高架になります。

朝９時から記念式典が始まり、まず、主催者である広瀬勝貞大分県知事、釘宮磐大分市長から挨拶がありました。４０年の歳月と、６００億円をかけた大事業の完成に対する関係者の皆様への感謝を述べるとともに、今後の街づくりへの決意が表明されました。

その後、JR 九州の唐池恒二社長より、日本一快適な駅ができたので地元と一体となり街に賑わいを取り戻したいとの挨拶がありました。

式典終了後、新しい駅の３番のりばに移動して、出発式が行われました。玉木局長を始め関係者によるくす玉割りの後、一日駅長に選ばれた大道小学校の２人の生徒の合図で、１０時１１分発博多行きのソニック２２号がゆっくり出発してゆきました。

駅構内では、大勢の見物客が訪れており、商業ゾーンの「豊後にわさき市場」のオープンにあわせて、それぞれ地元の特産品などを買い求めていました。木目の天井が美しいコンコースでは、新たな駅のシンボルである「にわとり像」の除幕式や、JR 九州の列車でお馴染みの水戸岡氏デザインによるミニトレイン「ぶんぶん号」の出発式があり、大勢の家族連れが乗り込みコンコースを走っておりました。

大分駅の府内中央口（北口）は、大分市の中心市街地として賑わっていましたが、大分パルコ等の撤退もあり客足の減少が続いておりました。大分県・大分市では、大分駅のリニューアルを契機として、南北軸を一体として周辺を再開発し、県都の顔としての活気を取り戻そうと３年後の駅ビル完成までに整備する計画を建てています。

偶然にも、大分駅の開業式典が行われた日に、博多駅では九州新幹線全線開業の１周年記念式典が開催されました。新幹線で関西から来た観光客が、九州の横断軸を使って、リニューアルされた大分駅に溢れかえる日が来ることを期待して止みません。

※開業式典の模様は、次のＵＲＬからご覧になれます。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_162.pdf

（大分運輸支局）

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――

▼▼東北地域の観光復興の取り組み▼▼
～「こころをむすび、出会いをつくる」東北観光博開催中～

東日本大震災と福島第一原発事故で落ち込んだ東北地域の観光需要の喚起を目的とする「東北観光博」が、来年３月末までの約１年の期間で開催されています。

テーマは「こころをむすび、出会いをつくる」。東北地域の観光客を震災前水準への回復を図るほか、観光客と地域の方々の交流がより促進される新しい観光スタイルの実現を目指しています。

観光博では、東北の主要な観光地域２８カ所に設定された「ゾーン」に、「地域観光案内人」が常駐する「旅サロン」や「旅の駅」を設置して、「あしたのジョー」でおなじみの「ちばてつや」さんが書き下ろした公式ガイドブックの配付や東北観光博パスポートの発給を行いながら、とっておきの情報を観光客へ提供します。

公式ガイドブックは、東北６県のおすすめイベントや見所のほか、東北６県の知事や東北出身者へのインタビュー記事が満載です。

パスポートに各ゾーンのスタンプを集めるとうれしいプレゼントがもらえたり、パスポート加盟店で提示するとお得な割引を受けることもできます。

また、携帯やスマートフォンで専用サイトを訪れると、その日その時の「取れたて旬な旅情報」を GET することができます。

震災後、東北地域への観光客は徐々に回復してきておりますが、一年たった現在もまだ８割程度にとどまっております。九州から東北への航空路線は、これまで福岡～仙台線が１日４便でしたが、３月２５日からは福岡～いわて花巻線が四年半ぶりに再開し、１日１便が運航されて、東北への旅行がより近くに、より便利になりました。

東北地域の復興の一助となるよう、お友達、ご家族、周りの方々お誘い合わせの上、この機に、是非、東北へ足をお運びいただき、東北の美しい風土・文化、食や温泉、そして何よりも温かい東北人の心に触れてみてください。

そして東北を訪れた際には、ツイッターやフェイスブックを通じて皆様が感じた東北の魅力をポータルサイトから発信いただき、東北地域で頑張っている方々へ元気を送っていただければ幸いです。是非一度ポータルサイトをご覧ください。

東北観光博ポータルサイト　http://www.visitjapan-tohoku.org/
twitter　@vj_tohoku
facebook　http://www.facebook.com/visitjapan.tohoku

主催：東北観光博実行委員会
　国土交通省・観光庁・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・日本経済団体連合会・日本商工会議所・経済同友会・東北経済連合会・東北六県商工会議所連合会・東北観光推進機構・日本観光振興協会・日本旅行業協会・全国旅行業協会

▼▼定例記者会見を実施しました！　▼▼

九州運輸局は、３月２８日（水）に平成２３年度第６回定例記者会見を開催しました。会見項目は、以下のとおりです。

１　九州の外国人入国者数について
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-0328-kokusai2.pdf

２　平成２４年外国クルーズの九州への寄港予定（３月時点）
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-0328-kokusai3.pdf

３　「済州オルレ」コースの視察研修を実施します！
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-0328-kokusai1.pdf

４　宿泊旅行統計調査＝九州版＝
　～平成２３年１０月から１２月分について
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-0328-kantika.pdf

５　～使いやすい公共交通をめざして～
公共交通をより上手に利用していただくために、博多駅及び天神地区公共交通マップの２４年度版を作製しました！！
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-0328-koutsuukikaku.pdf

６　「九州離島航路経営改善ガイド」の作製について
　～離島航路の現状把握と維持・改善のためにお役立て下さい～
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2012-0328-ryokaku.pdf

（総務部　広報対策官）

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
３　九州運輸局セミナー
◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
日本のＣＯ２排出量全体のうち１７．６％は自動車から出ていて、そのうち自家用自動車が占める割合は５７．２％（１億１５４１万トン）になります。日本全国の就業者の４割（２７５０万人）が通勤にマイカーを使い、そのＣＯ２排出量は年間３０００万トンに達するとの推計もありますので、自家用自動車のＣＯ２排出量のうち、約４分の１は通勤する車から出ていることになります。

九州運輸局は、通勤手段をマイカーから、より環境負荷の少ない電車やバス、自転車、徒歩などの利用にシフトすることにより、地球温暖化防止、渋滞緩和、事故の削減などを図る「エコ通勤優良事業所」の認証取得を推奨しています。

認証を受けるには、①エコ通勤推進担当者の指名　②通勤実態の把握　③エコ通勤の具体的取り組み　④エコ通勤プランの作成　の４つの基準を満たす必要がありますが、③の取り組みについても「メールなどでのエコ通勤の呼びかけ」に加えて「月１回のノーマイカーデーの実施」または「自転車通勤者への補助制度導入」を行う等、必ずしも、高度かつ大規模な取り組みでなくとも結構ですし、④のプランも「〇〇%以上のＣＯ２排出量の削減」等の数値基準があるわけでありませんので、現状より少しでもエコ通勤の取り組みが進むような無理のないプランを作成していただければ結構です。

本制度は、エコ通勤を広く普及していくための“きっかけづくり”として制度設計がなされたもので、認証基準のハードルは低くなっています。

すでに何らかのエコ通勤につながる取り組みを実施している、または、ＩＳＯ１４００１を取得され、環境に配慮した取り組みの実施を必要とされている企業担当者様におかれては、ぜひ「エコ通勤優良事業所」の認証取得についてご検討ください。

全国で１３８事業者（九州２事業者）が認証を受けていますが、その取り組みは事務局を運営する交通エコロジー・モビリティ財団のホームページに掲載され、広く一般にアピールすることができるようになっています。

〇交通エコロジー・モビリティ財団　エコ通勤トップページ
http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html
※取り組み事例紹介は、当該ホームページの右下のバナーから

➢お問い合わせ先：九州運輸局交通環境部環境課（０９２－４７２－２３３０）

■■……■■
☞お詫び
　本メールマガジン（2012/3/22 第 161 号）の「１　九州運輸局ホームページアップ情報（３月８日～３月２１日掲載分)」の「☆分野別情報」欄の一部に記載ミスがありましたので、以下のとおり訂正してお詫び申し上げます。
【訂正箇所】
・トラックの申請・処分状況（平成２４年２月分）
（正）http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/truck/s_2402_1_2.pdf

（誤）http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/truck/s_2402_1.pdf

■■……■■

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
【編集部より】
編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿くだ

さい。

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）
mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp
Tel : 092-472-2312　　Fax : 092-471-7192
◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
▼九州運輸局メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから▼
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html
※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※